

【幼稚園用】

令和〇〇年度学校評価 計画

達成度(評価)
 A:十分達成できている
 B:おおむね達成できている
 C:やや不十分である
 D:不十分である

園名	
1 前年度 評価結果の概要	
2 教育目標	
3 本年度の重点目標	

4 重点取組内容・成果指標				中間評価(任意)		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価(任意)		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	具体的目標		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●心づくり	○	○	・								
●健康・体づくり	○	○	・								
●幼・保・小連携	○	○	・								
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○	○	・								
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	具体的目標		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○	○	○	・								
○	○	○	・								

●…県共通 ○…園独自

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--

【幼稚園用】

令和〇〇年度学校評価 計画

「計画」「中間評価」「結果」等をプルダウンメニューより選択

達成度（評価）
 A：十分達成できている
 B：おおむね達成できている
 C：やや不十分である
 D：不十分である

記載例

園名

1 前年度 評価結果の概要
 ・絵本の読み聞かせの機会が園・家庭共に少なくなってきた。
 ・園行事前の職員の退勤時間が特に遅い。
 前年度の学校評価結果より、成果や課題について概要を記述する。

2 教育目標
 「豊かな心でたくましく生き生きと活動する幼児」を目標に、基本的な生活習慣を身につけ、生きる力の基礎を培う。

3 本年度の重点目標
 ①豊かな心と体の育成のために、保護者との連携を強化する。
 ②働き方改革の一環として行事の精選を行う。
 1 前年度評価結果・2 学校教育目標 及び、各学校や児童生徒の実情・課題等を踏まえ、「今年度特に何を重点とする」を明確にする。
 幼稚園の中間評価は任意。「具体的目標」について上記凡例をもとに「A～D」で中間評価を行う。ただし、中間時点で成果指標を計ることができない場合は、具体的取組の進捗状況をもとに判断する。

4 重点取組内容・成果指標
 評価項目に対して評価の観点となる取組内容を記載する。
 重点取組内容を評価するための目標を設定する。
 重点取組内容を実行・実現するための具体的取組・方策・活動等を記載する。
 中間評価（任意）
 5 最終評価
 「成果指標」の結果を総合的に判断し、上記凡例をもとに「A～D」で評価する。
 公表する場合は、氏名ではなく役職等で記載する。

評価項目	重点取組	具体的目標	具体的取組	中間評価（任意）		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
				進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言	
●心づくり	○絵本や物語、紙芝居などの読み聞かせを通して美しい言葉に触れ、想像する楽しさを味わい心づくりにつなげる。	○読み聞かせに関する教員のスキルアップを図るとともに、保護者に絵本などの読み聞かせの大切さを知らせる。	・教員の読み聞かせ研修会を行う。 ・お薦め絵本などを紹介する展示を行う。	B	・展示会は〇月のみ園行事のため実施できなかったが、それ以外は実施できており、今後も実施したい。	B	・毎月の展示会は子供、保護者共に好評であった。 ・個人間で差が見られた。	A	・絵本の展示会は、家庭で読み聞かせを行うよききっかけとなり、子供が絵本を大好きになった。	管理職
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	○外遊びに楽しく取り組むことを通じて、体づくりへとつなげる。 ○散歩を通して自然に親しみ、交通マナーを身に付ける。	・外遊びの時間の十分な確保 ・遊具の正しい使い方、安全な遊び方を知らせ、怪我の予防に努める。	B	・外遊びの時間を週〇時間確保した。 ・毎回、状況に応じて、遊具の正しい使い方、安全な遊び方を知らせ、怪我の予防に努める。	A	・外遊びの時間を週〇時間確保した。 ・毎回、状況に応じて、遊具の正しい使い方、安全な遊び方を知らせ、怪我の予防に努めた。	A	・いつも子供たちが外で元気に遊んでいる。難しいことにも挑戦するようになり、自分でできる喜びを感じていると思う。	学年主任
●幼・保・小連携	○保育参観や授業参観、幼保小中会議及び合同研修を通して円滑な接続に向けた共通理解を図る。 ○小学校、保育園、他の幼稚園との交流を深め、小学校との接続を滑らかにする。	○保育参観や授業参観、幼保小中会議及び研修を通して就学に向けた共通理解を図る。 ○小学校、保育園、他の幼稚園との交流を深め、小学校との接続を滑らかにする。	・幼保小中連絡会議に参加し、職員間で報告を密に行い、共通理解を図る。 ・交流する相手方と開催時期や具体的な内容について、十分に話し合い計画を立てる。 ・小学校、保育園と交流事業を実施する。	C	・〇月までに交流の年間計画を立てることができた。 ・小学校と年〇回、保育園と年〇回交流した。 ・全ての幼保小中連絡会議に参加しているが、全職員への周知はまだできていない。	B	・〇月までに交流の年間計画を立てることができた。 ・小学校と年〇回、保育園と年〇回交流した。 ・全ての幼保小中連絡会議に参加し、全職員への周知を行った。	B	・他園や小中との交流がよくできていて、子どもたちも楽しみにしている。 ・小学校や他の教育機関と密に連携がとれており、小学校入学への不安が軽くなった。	主任保育士
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○園務の整理や行事の精選に取り組み、業務の効率化を推進する。	○行事の数、内容の精選を行い、〇〇%削減する。	・行事の前に削減できる部分を検討し、行事の後に削減できた部分があったか振り返りを行う。	B	・行事の数、内容〇〇%削減 ・全ての行事の前後の打ち合わせにおいて内容削減について検討できている。	B	・内容削減は保護者の要望による難しい部分もあり、〇〇%に留まった。 ・全ての行事の前後の会議、打ち合わせにおいて内容削減について検討できた。	B	・保護者も負担と感じる行事もあるので一緒に検討できればと思う。	園長

評価項目	重点取組内容	具体的目標	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
				進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言	
○基本的な生活習慣の育成	○望ましい生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん・あいさつ）について保護者と連携して育成する。	○アンケートにより実態を把握すると共に保護者の意識を高める。回収率100%を目指す。 ○望ましい生活習慣ができていない幼児〇〇%以上	・アンケート内容を検討し、その結果について保護者と一緒に改善策を考え、意識を高めていく。	B	・〇月までにアンケートを実施できたが、回収率は〇〇%であった。 ・一部の保護者とまだ相談ができていない。 ・年度当初の1回、クラス懇談会で望ましい生活習慣の重要性について伝えた。	A	・アンケート未回収も含めて全ての保護者と相談できた。 ・年〇回、クラス懇談会で望ましい生活習慣の重要性について伝えた。 ・望ましい生活習慣ができていない幼児〇〇%で年度当初よりかなり改善できた。	A	・基本的な生活習慣の育成には、家庭の理解と協力が不可欠である。繰り返し伝えてほしい。	副園長

5 総合評価・次年度への展望
 本年度の重点目標に対して、共通評価項目に当てはまらないものがあれば独自評価項目として設定する。全て共通評価項目に当てはまっていれば、設定する必要はない。
 中間評価（進捗度）の根拠となる進捗状況を記載。評価が高いものについては多くを記載する必要はないが、評価が低いものについては改善策を含めた見直しを記載する。やむを得ない事情がある場合はその内容を記述する。また、教育委員会に求めるフォローアップ等があれば記載する。
 「達成度」の根拠となる「取組内容」と「成果指標」の結果を記載する。

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・教職員がチーム一丸となって教育活動に取り組んだことで、ほとんどの項目でA評価となった。</p> <p>・学力向上については、今後も児童が主体的に活動に取り組むことができるように、個に応じた指導等も充実させていく必要がある。また、児童一人が安心して学校生活を送れるように、今後も心の教育や特別支援教育等の取組を充実させていく必要がある。児童一人の出番や役割を与え、できていることを称賛、承認することで、児童の自己肯定感や自己有用感を高めていきたい。</p> <p>・教職員の働き方改革への意識が少しずつ向上してきている。今後も教職員が心身ともに健康で教育活動に取り組むことができるように、ICT活用や会議のスリム化を行い、教職員の勤務時間の適正化に努めていきたい。</p>
2 学校教育目標	ひこばえの心をもち、強く・かしこく・美しく生きる子どもの育成を図る
3 本年度の重点目標	<p>① 確かな学力の向上、及び主体的・対話的に学び自信をもって表現する子どもの育成を図る。</p> <p>② 自己肯定感や自己有用感を持ち、人を思いやる豊かな心の育成、及び、ふるさと大浦を誇りに思う心の育成を図る。</p> <p>③ 粘り強く何事にも挑戦する児童の育成、及び、自他ともに健康と命を大切にす態度の育成を図る。</p> <p>④ ワークライフバランスを保ち、働き方改革に対する教職員の根本的な意識改革の充実を図る。</p>

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○(学校独自重点取組)	○(学校独自成果指標)								
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○(学校独自成果指標・記載例を参考にしてください。)								
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○(学校独自成果指標・記載例を参考にしてください。)								
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒口□%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒口□%以上								
	○(学校独自重点取組・任意)	○								
●健康・体づくり	次の中から1つ以上を選択 ①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ④「安全に関する資質・能力の育成」 ⑤「健康を考えて行動できる能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒口□%以上(小学校60%以上、中学校80%以上の数値で学校の実情に応じて設定) ②(学校独自成果指標) ③「健康に良い食事をしている」児童生徒口□%以上 ④児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする ⑤「健康は何より大切だ」「保健で学習したことを、自分の生活に活かしている」と答えた児童生徒口□%以上								
	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。								
	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								
●特別支援教育の充実	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
--------------------	----------------------------

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度(評価)
 A:十分達成できている
 B:おおむね達成できている
 C:やや不十分である
 D:不十分である

学校名	太良町立大浦小学校
1 前年度 評価結果の概要	・教職員がチーム一丸となって教育活動に取り組んだことで、ほとんどの項目でA評価となった。 ・学力向上については、今後も児童が主体的に活動に取り組むことができるように、個に応じた指導等も充実させていく必要がある。また、児童一人一人が安心して学校生活を送れるように、今後も心の教育や特別支援教育等の取組を充実させていく必要がある。児童一人一人の出番や役割を与え、できていることを称賛、承認することで、児童の自己肯定感や自己有用感を高めていきたい。 ・教職員の働き方改革への意識が少しずつ向上してきている。今後も教職員が心身ともに健康で教育活動に取り組むことができるように、ICT活用や会議のスリム化を行い、教職員の勤務時間の適正化に努めていきたい。
2 学校教育目標	ひこばえの心をもち、強く・かしこく・美しく生きる子どもの育成を図る
3 本年度の重点目標	①確かな学力の向上、及び主体的・対話的に学び自信をもって表現する子どもの育成を図る。 ②自己肯定感や自己有用感をもち、人を思いやる豊かな心の育成、及び、ふるさと大浦を誇りに思う心の育成を図る。 ③粘り強く何事にも挑戦する児童の育成、及び、自他ともに健康と命を大切にしている態度の育成を図る。 ④ワークライフバランスを保ち、働き方改革に対する教職員の根本的な意識改革の充実を図る。

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		学校関係者評価		主な担当者		
(1)共通評価項目												
評価項目	重点取組	取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価		意見や提言	
●学力の向上	●学力の向上	○主体的・対話的に学び自信をもって表現する子どもの育成	○「文章を書く時に相手や目的に合わせて伝えたいことを分かりやすく書いていく」「話し合いでは、自分の考えを伝えたり友達と比べたりして考えることができる」と回答した児童80%以上。	・授業づくり1・2・3を踏まえ実践していく。 ・話す、書く目的や相手意識をはっきりさせた上で必要な条件や具体的な書き方・進め方を示す。 ・家庭学習の定着や自主学習の奨励、読書力を高める取り組みを積極的に挙げる。							確かな学力PJ	
		●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「自分にはよいところがある」「自分は誰かの役に立っている」の項目で肯定的な回答をした児童90%以上。	・人権集会やほかほかの木、自他の生命を大切に育てる活動の授業に取り組む。 ・Q/Uアンケートに関する校内研修を実施する。 ・学級活動で構成的グループエンカウンター授業に取り組む。							豊かな心PJ	
●心の教育	●心の教育	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「まわりの人たちや、困っている人に優しくしている」の項目で肯定的な回答をした児童90%以上。	・心のアンケートを実施し、いじめの早期発見に努めると同時に事業発生の際は迅速な対応を行う。 ・担任と児童一人一人と話す「教育相談週間」を設定し、児童の状況の把握と信頼関係の構築を行う。 ・毎週木曜日の子ども支援連絡会を通し、教師間の情報共有かつ指導の統一を図る。							豊かな心PJ	
		●児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童90%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」という肯定的な回答をした児童90%以上	・日頃から児童の励みになるように承認・称賛を行い、児童の自己肯定感を高める。 ・道徳の授業で夢や目標の持つことの大切さを知り、児童一人一人が夢や目標を持つような手立てや声かけを行う。							豊かな心PJ	
		○基本的な生活習慣の定着	○「あいさつ上手、片づけ上手、すごし方上手、お話し上手」の項目で「よくなる」と答える児童90%以上	・毎月、クラスで生活目標のふりかえりを行い、児童の意識の向上を図る。 ・全校朝会で生活の話はふりかえりを行い今後も続けるよう声をかけたり、日々の生活の中で良い行いをしている児童を見つけて褒めたりする。								豊かな心PJ
		●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○ひこばえがんばりカードで就寝時間を守ることができている児童85%以上 ●「健康に良い食事をしている」児童80%以上	・「ひこばえがんばりカード」に各担任が目を通し、適宜指導する。 ・栄養教諭と連携し、食育指導を各学年が一回以上実施。 ・栄養教諭の巡回指導を、複数回行い、食に関する興味関心を高める。								健やかな体PJ
●健康・体づくり	●健康・体づくり	○運動に親しむ児童の育成	○「授業や休み時間など学校生活において体を動かすことが好きだ」と回答する児童85%以上	・委員会主導によるスポーツフェスタの実施。 ・サガンキッズへの積極的な参加。 ・外遊びの奨励							健やかな体PJ	
		●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・自分の勤務状況を確実に把握するために出勤退勤カードの管理を確実に行うとともに、毎日予定ボードに必ず退勤予定時刻を明記し、実行する。 ・資料の事前配布や職員連絡掲示板やICTの活用により会議をスリム化し、会議の回数や時間を減らす。 ・毎週金曜日を定時退勤日として設定し、確実に守るようにする。							校長・教頭	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○学校組織力の向上 ・ブロック制による学年経営 ・プロジェクト制による校務運営 ・各種主任、コーディネーターのリーダー性の向上	○「プロジェクトやブロック制を意欲した業務ができた」と答える教員90%以上 ○「担当分野の内容改善を進んで行った」と答える職員90%以上	・ブロック主任、各部長は年間を通じて定期的に情報の共有を行い、ブロック主任は、意図的・計画的に教育活動が行われるように進捗状況を把握する。 ・プロジェクトリーダーを中心として、毎月の取組での重点事項について内容・方法の検討や工夫・改善を行う。 ・各担当の内容について、職員会議での提案や連絡会での連絡を欠かさず行い取り組む。							校長・教頭	
		○教員の専門性と意識の向上	○「特別支援に関する専門性や意識が向上した」と答える職員90%以上。	・特別支援に関する研修会を実施する。 ・子ども支援連絡会等で情報共有すると同時にケース会議を開催して個別の支援の対応を図る。							特別支援教育コーディネーター	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	主な担当者
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望

「計画」「中間評価」「結果」等をプルダウンメニューより選択

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

記載例

学校名 〇〇立〇〇学校

1 前年度 評価結果の概要
・主体的・対話的で深い学びを軸とした授業改善が不十分であり、授業研究会等も実施されていない。
・特別支援教育を全職員で対応することへの意識が高まっていない。
前年度の学校評価結果より、成果や課題について概要を記述する。

2 学校教育目標
「質実剛健」「信義誠実」「自主自律」の精神を生かし、社会に有用な高い知性と広い視野を持ち、人間性豊かで心身ともに健全な人間の育成をめざす。

3 本年度の重点目標
① 主体的・対話的で深い学びの実現へ向けた授業改善
② 人権教育を充実させるとともに、特別支援教育の充実
1 前年度評価結果・2 学校教育目標 及び、各学校や児童生徒の実情・課題等を踏まえ、「今年度特に何を重点とするか？」について熟慮し、重点となる目標を設定する。
「成果指標」について上記凡例をもとに「A～D」で中間評価を行う。ただし、中間時点で成果指標を計ることができない場合は、具体的取組の進捗状況をもとに判断する。
「成果指標」の結果を総合的に判断し、上記凡例をもとに「A～D」で評価

Table with 4 main columns: 重点取組内容・成果指標, 中間評価, 最終評価, 学校関係者評価. It contains detailed evaluation data for various categories like '学力の向上', '心の教育', '健康・体づくり', etc., with specific goals, actions, and evaluation results.

Table for (2)本年度重点的に取り組む独自評価項目. It includes columns for evaluation items, specific goals, and evaluation results for independent evaluation items.

5 総合評価・次年度への展望
・
・
・
中間評価（進捗度）の根拠となる進捗状況を記載。評価が高いものについては多くを記載する必要はないが、評価が低いものについては改善策を含めた見直しを記述する。やむを得ない事情がある場合はその内容を記述する。また、教育委員会に求めるフォローアップ等があれば記載する。
「達成度」の根拠となる「取組内容」と「成果指標」の結果を記載する。
先頭に「●」がついているものは県で統一した重点取組内容と成果指標。先頭に「○」がついているものは学校独自取組の記入例であり、学校が設定する。（任意）先頭に「◎」がついているものは、「志を高める教育」に関する内容。「◎」は必ず1つ以上設定するが、どこの評価項目でもよい。